

(様式第4号)

上田地域定住自立圏連絡協議会 会議概要

1 会議名	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
2 日時	平成30年1月26日 午後2時から午後3時45分まで
3 会場	上田市役所本庁舎6階会議室
4 出席者	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員 20名
5 オブザーバー	上田地域振興局企画振興課、上田地域広域連合(企画課)
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	平成30年1月29日

議事概要等

1 開会

(司会：上田市政策企画課長)

2 委嘱状交付

机の上にあらかじめ配布してある委嘱状の確認をもって委嘱状の交付とさせていただいた。

3 あいさつ

上田市長からご挨拶申し上げた。

4 委員自己紹介

50音順名簿の順で、出席委員から自己紹介を行った。

5 会長・副会長選出

規約では互選により選出するとなっているが、丸山正明委員から事務局提案の提示を求める発議をいただき、会長に中村 彰 様、副会長に直井良一 様という案を事務局から提案し、委員の皆様からご了解いただき選出された。

(会長)

このところ、人口減少社会ということが話題となっているが、魅力あるまちづくり(自治会活動の維持)のためには、市民、企業、行政がいろいろな場面で助け合い、連携がより一層必要であると感じている。上田地域定住自立圏においても、市町村の垣根を越えた、活発な連携・協力が進むよう、それぞれのお立場から、ご意見をいただきたい。

(副会長)

副会長として、会長の円滑な議事進行を補佐していきたい。

6 議事 (進行：会長)

- (1)「第2次上田地域定住自立圏共生ビジョンの変更案について」
- (2)「第2次上田地域定住自立圏共生ビジョンに係る取組の進捗状況について」

(事務局)

資料に沿って説明。

- (3)「上田地域の移住の現状について」

(事務局)

資料に沿って説明。

(委員)

ワイン等を活用した地域振興連携の取組については、広域ワイン特区の認定等、成果が目に見える形となっており、地域としての盛り上がりも実感している。

東御市では御堂地区の30haをブドウ畑とする開発工事が進められているところであるが、実際、移住・定住を促進するという意味では畑だけあっても難しい。ワイン特区の効果もあり、小規模参入者が多数押しかけているとはいえ、様々な規制の関係でワイン畑周辺でワイナリーを建てたり、醸造家らが住むための家を建てるための土地が確保できない状況。

ワインはそこに暮らす人々が創る文化。小規模ワイナリーでは土日祝日のみの営業でも年間約3000人の交流人口を生み出せる。美しい景観を資源として、眼下に広がるブドウ畑が見渡せる場所に住みたい、ワインに関連したビジネスをしたい、ワイナリーの集積する地域に別荘を持ちたいといったニーズを広く受け入れ、憧れのライフスタイルを創出することで、ワイナリーニュータウン構想とでも言うべき経済効果、移住促進効果なども期待できる。

これらを実現していくためにも是非土地利用の規制緩和等について定住自立圏として研究し、推進していただきたい。

また今お話したワインの話は一例であり、その他の分野でも規制緩和等により実現できることは多いと考えており、さまざまな分野において広域での研究が進むことを期待。

(事務局)

夢のある大きなお話を伺った。いろいろな規制がある中でどういったことが可能かというのはすぐに答えが出るものではなく、具体的にこうしていくという回答が今できないことはご理解いただきたい。

一方で、この地域に住みたいと思う人々が実際に住めるという環境をいかに実現できるかというのは定住自立圏の根本的な役割であり、ワインを一例としつつ、様々な課題に対しどのような規制緩和等の方策があり得るのかという点については関係課等で検討してまいりたい。

(委員)

現在、青木村では耕作放棄地等に繁茂する竹藪が多く、それらを有用資源として利活用すべく竹チップ等への転換を促進する活動が農業委員会を中心に始まっている。

他市町村では、竹藪化について問題意識はあるのか。もしあるのであれば、竹藪化問題への対策というような視点で定住自立圏における連携が図られれば良いのではないかと。

(事務局)

上田市においても遊休荒廃地の竹藪化が問題となっている地域はあると認識している。竹林の整備という観点から県の森林税活用のメニューで竹の有効活用等対策事業が可能となるかもしれないので、今後の検討課題とさせていただきたい。

(委員)

所有するブドウ畑なども、農地という名の雑木林を開墾した畑であり、周辺の遊休荒廃地から竹の地下茎が伸びて来ることが頻繁にある。毎年、駆除を行っているものの少しでも地下茎が残っていれば翌年再度駆除が必要となり根気強く駆除する必要がある。駆除によって掘り起こされた竹の処分も困難であり、磨り潰す処理ができる機器等が利用できるとありがたいが、県に問い合わせたところ現在県では保有していないとのことだった。

耕作放棄地対策という面からも竹に着目して取り組んでいただければありがたい。

(会長)

概ね意見が出尽くしたと思われるので、質疑は以上としたい。出された意見については、今後の取組や検討に生かしてもらうことをお願いし、会長としての議事を閉じさせていただきます。

7 その他

(上田市政策企画課長)

本日は貴重なご意見をいただき、感謝。

先ほど中村会長からもご発言いただいたとおり、本日いただいた意見等は事務局で整理し、それぞれの取組事業で生かせるものは取り入れ、また、いただいた意見を参考に検討や調査研究を進めるなど、今後の取組にも生かして参りたい。

また、共生ビジョンは毎年度、所定の見直しを行うとしているため、来年度も共生ビジョン懇談会を開催する予定。

委員の任期については、上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱において、委嘱の日から、その日の属する年度の末日までと規定しているところであるが、来年度以降も就任をお願いすることもあるかと思うのでその際はよろしくお願ひしたい。

8 閉会

(司会：上田市政策企画課長)

以上で、平成29年度上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会を閉会することとする。

以上